

プロ野球選手ふるさとへ

■ようこそ先輩 中沖小学校

赤田選手母校を訪問

本町出身でオリックスバファローズに在籍する赤田将吾選手が、12月18日（火）、母校の中沖小学校を訪ねました。

同小学校の全児童は、憧れの先輩を大きな拍手で迎えました。

赤田選手は『夢』と題した講演を行いました。

講演では、「幼稚園時代には、

プロ野球選手の夢を思い描いていた。夢への第一歩は、テレビ

で活躍するプロ野球選手の姿だった」と当時を振り返りました。

小学生時代には、夢をかなえるためにソフトボール少年団の練習後に、素振り100回、腹筋100回を日課とし、基礎体力を養っていたそうです。

また、中学生時代になると足

腰を鍛えるため部活終了後、自宅までの約5キロをランニングで帰宅していたのだとか。

赤田選手は、「あきらめなければ夢は叶う。まず、夢を思い描くこと。そして夢を叶えるにはなにをすればよいか考えてほしい。あきらめたらその時点ですべてが終わってしまう。」と児童らに呼びかけました。

児童から「プロ野球選手になるまで一番つらかったことはなんですか?」と質問されると「プロ野球選手は、子どものころからの夢だった。野球が好きだから、厳しい練習もつらくなかった。」と答え、「夢に向かってがんばろう」とエールを送りました。

野球教室では、全校生徒とキャッチボールを楽しみながら触れ合いました。

あきらめなければ夢は叶う

